

第185回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [各①点、合計 8 点]

問 1 製品 X 単位当たり製造原価 [⑤ 23,500] 円/単位 ※別解：「11,100」

営業利益 [⑤ 1,380,000] 円

問 2 営業利益 [⑤ 2,270,000] 円

製品 X の月間生産・販売量 [⑤ 550] 単位

問 3 営業利益 [⑤ 3,490,000] 円

製品 X-2 の月間生産・販売量 [⑤ 100] 単位

問 4 製品 X の生産・販売量を a，製品 X-2 の生産・販売量を b とする。なお，[] には数値，() には等号または不等号を記入すること。

【完答で⑤点】 目的関数： [17,800 円/単位] × a + [21,100 円/単位] × b の最大化

制約条件式：

【完答で⑤点】 材料消費制約 [5] × a + [6] × b (≤) [3,100]

【完答で⑤点】 作業時間制約 [3] × a + [4] × b (≤) [1,980]

【完答で⑤点】 販売量制約 [1] × a (≤) [550]

【完答で⑤点】 [1] × b (≤) [500]

非負条件 a ≥ 0 , b ≥ 0

製品 X の月間生産・販売量 [③ 548] 単位 別解：「550」

製品 X-2 の月間生産・販売量 [③ 60] 単位 別解：「58」

営業利益 [3,500,400] 円 別解：「3,493,800」

問 5

製品ごとの販売量を予測するのではなく、製品種類全体として販売量を予測しなければならないこと。 ③

変化する可能性がある制約条件を○で囲みなさい。

材料消費制約

作業時間制約

販売量制約

②

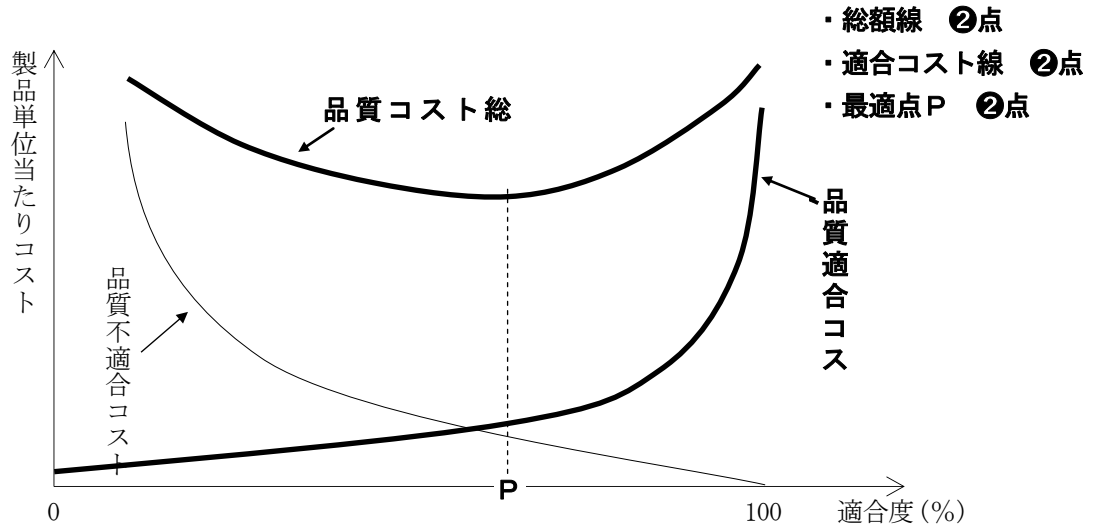
問題2 [丸数字は予想配点、合計40点]

問1

各②点 A 予防 B 検査 C 評価 D 内部失敗 E 外部失敗

※別解：「調査」「点検」「チェック」など

問2



※[記入のポイント]

①P点は適合度60%程度の場所に配置する。 ②品質コスト総額を少し上に配置する。

問3

(A) コスト[③ 1,240]百万円 (C) コスト[⑤ 630]百万円
 (D) コスト[③ 2,420]百万円 (E) コスト[⑤ 200]百万円

問4

品質コスト総額が300百万円増加しているため、品質管理活動の成果は低下しているといえる。

③

別解：「品質適合コストを400百万円増加させることで、品質不適合コストを100百万円減少させているため、品質管理活動の成果は向上しているといえる。」

問5

欠陥品を市場に出すことは、顧客からの信頼を失い、中長期的な収益にダメージを受けると考えられるためである。 ⑤